

# 決算説明会

## 2017年3月期第3四半期

ミネベアミツミ株式会社

2017年2月13日

1. 業績の説明
2. ミツミ電機との経営統合の進展について

# 業績の説明

取締役 専務執行役員 依田 博実

## 円高やスマホ市場の伸び鈍化などにより 売上、利益とも減少も、計画を上回る実績

| (百万円)             | 2016年3月期<br>1Q-3Q累計 | 2017年3月期<br>1Q-3Q累計 | 前年比<br>伸び率 | 2017年3月期計画<br>(2016年11月修正) |       |
|-------------------|---------------------|---------------------|------------|----------------------------|-------|
|                   |                     |                     |            | 通期                         | 達成率   |
| 売上高               | 474,215             | 442,508             | -6.7%      | 560,000                    | 79.0% |
| 営業利益              | 42,901              | 34,715              | -19.1%     | 45,000                     | 77.1% |
| 経常利益              | 38,446              | 34,772              | -9.6%      | 44,000                     | 79.0% |
| 親会社株主に帰属する<br>純利益 | 29,584              | 24,912              | -15.8%     | 26,500                     | 94.0% |
| 一株当たり<br>純利益 (円)  | 79.10               | 66.46               | -16.0%     | 70.69                      | 94.0% |

| 為替レート | 16/3期<br>1Q - 3Q累計 | 17/3期<br>1Q - 3Q累計 |
|-------|--------------------|--------------------|
| US\$  | 121.59円            | 106.92円            |
| ユーロ   | 133.88円            | 118.73円            |
| タイバーツ | 3.51円              | 3.04円              |
| 人民元   | 19.35円             | 16.06円             |

2017/2/13

4

**MinebeaMitsumi**  
Passion to Create Value through Difference

2017年3月期第3四半期累計の連結業績は、円高やスマホ市場の伸び鈍化などによって前年比で売上高、利益ともに減少しましたが、計画は上回って推移しました。

## スマホ向け部品出荷増など季節性の高まりで、 前四半期比で売上、利益とも増加

| (百万円)                | 2016年3月期 | 2017年3月期 |         | 前年同期比<br>伸び率 | 前四半期比<br>伸び率 |
|----------------------|----------|----------|---------|--------------|--------------|
|                      | 3Q       | 2Q       | 3Q      |              |              |
| 売上高                  | 178,661  | 154,844  | 167,375 | -6.3%        | +8.1%        |
| 営業利益                 | 15,484   | 11,623   | 16,120  | +4.1%        | +38.7%       |
| 経常利益                 | 15,120   | 11,659   | 15,857  | +4.9%        | +36.0%       |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 11,825   | 9,568    | 12,167  | +2.9%        | +27.2%       |
| 一株当たり<br>四半期純利益 (円)  | 31.61    | 25.52    | 32.44   | +2.6%        | +27.1%       |
| 為替レート                | 16/3期3Q  | 17/3期2Q  | 17/3期3Q |              |              |
| US\$                 | 121.23円  | 103.50円  | 106.13円 |              |              |
| ユーロ                  | 132.56円  | 115.00円  | 116.04円 |              |              |
| タイバーツ                | 3.37円    | 2.97円    | 3.02円   |              |              |
| 人民元                  | 19.02円   | 15.52円   | 15.62円  |              |              |

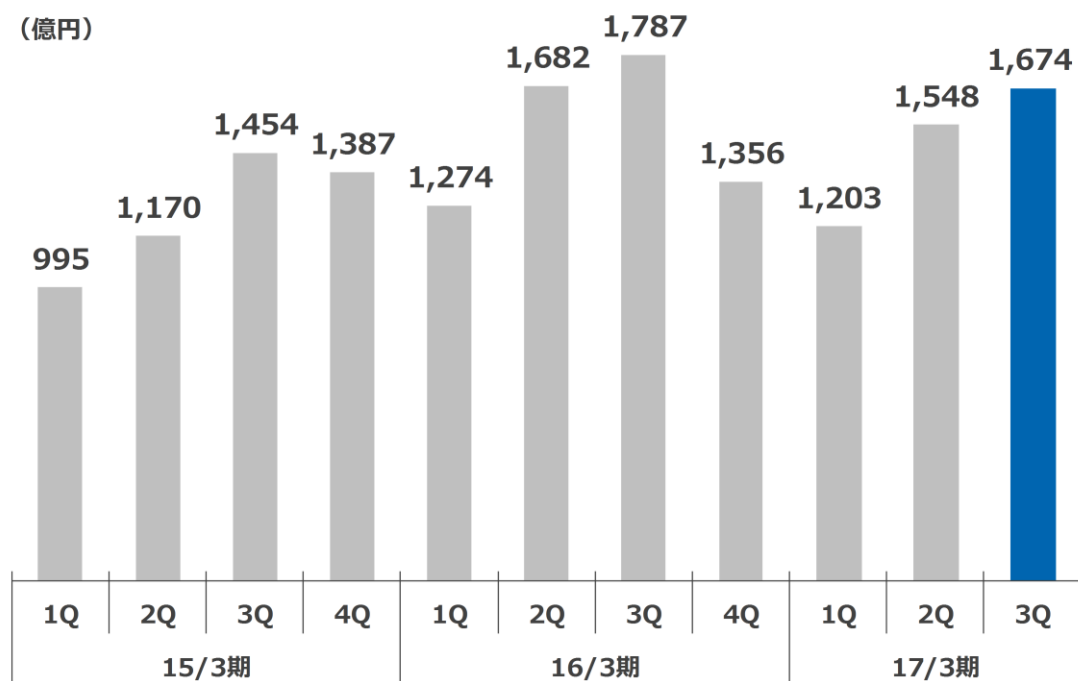
2017/2/13

5

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

第3四半期の連結業績は、前四半期比では、売上高、利益ともに増加しました。これは主に、スマホ向け部品を中心に季節的に需要期に入ったことに加えて、ボールベアリングやモーターへの需要が引き続き堅調だったことや、最近の為替市場でのドル高の動きがあったためです。前年同期比でも、円高の影響を除くと、実質増収増益でした。為替の影響は、売上高で前年同期比マイナス212億円、前四半期比プラス32億円あったと推計しています。営業利益への影響は前年同期比マイナス31億円、前四半期比プラス7億円との推計です。

(億円)



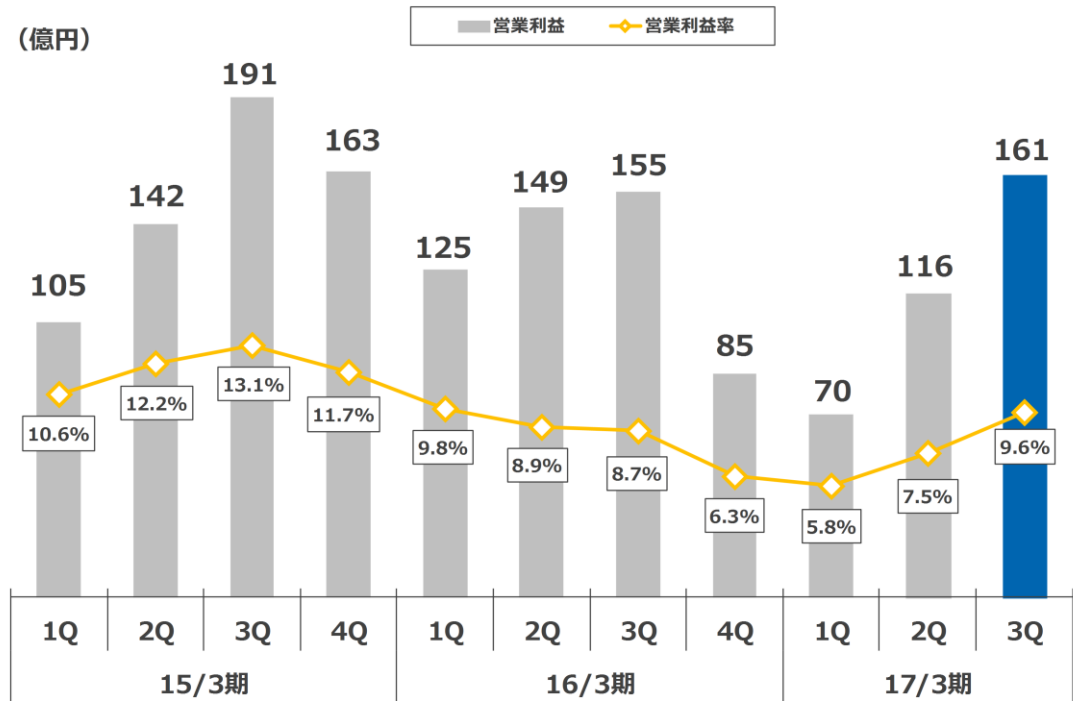
2017/2/13

6

**MinebeaMitsumi**  
Passion to Create Value through Difference

第3四半期の売上高は、LEDバックライトの伸びを中心に、前四半期比8%増の1,674億円となりました。

(億円)



2017/2/13

7

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

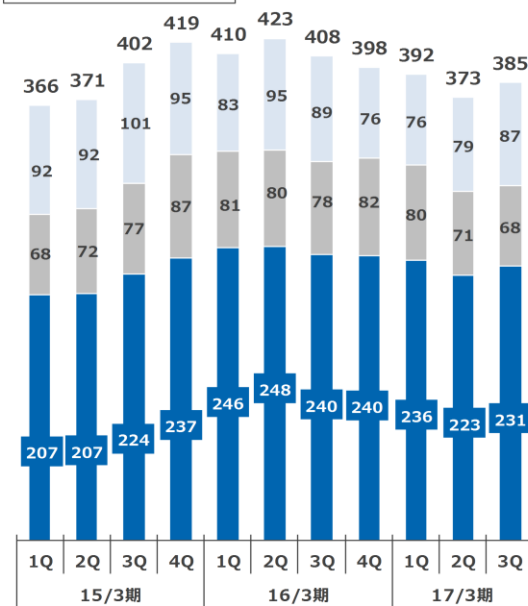
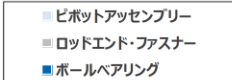
営業利益は前四半期比で39%増加し161億円となり、営業利益率は2.1ポイント上昇し9.6%となりました。これは、季節性の高まりによるLEDバックライトでの増益に加えて、モーターやボールベアリング、センシングデバイスでも着実に利益が増加したためです。

# 機械加工品事業セグメント

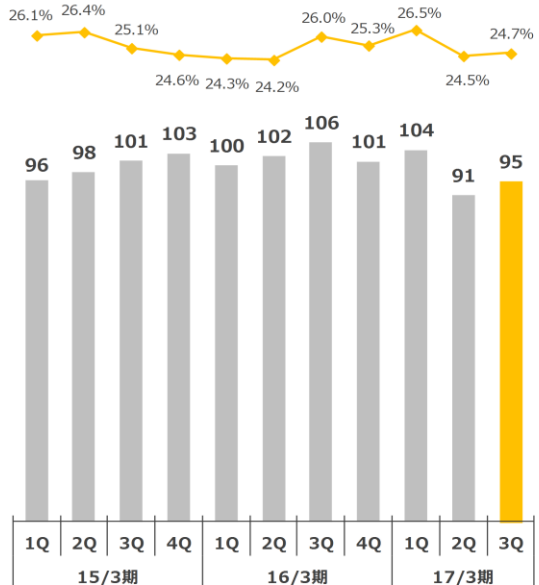
(ミネベア事業)

四半期推移

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



2017/2/13

8

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

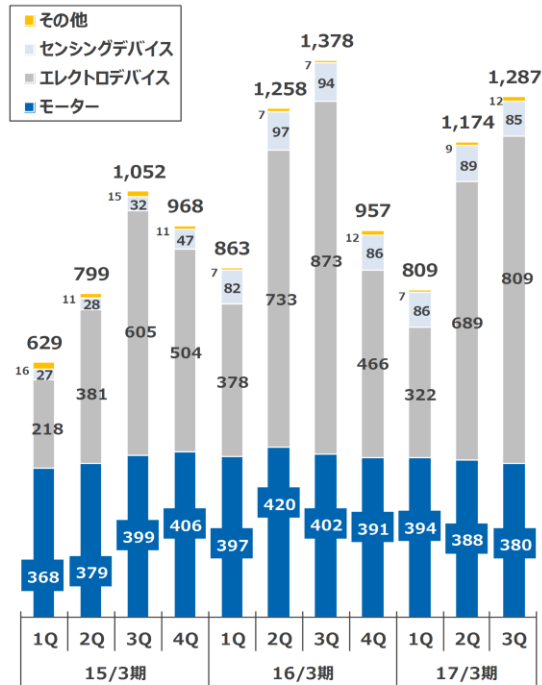
機械加工品事業セグメントの第3四半期の業績は、前四半期比で売上高は3.4%増の385億円、営業利益は4.2%増の95億円、営業利益率は0.2ポイント上昇し、24.7%となりました。これは、主にボールベアリングにおいて、引き続き過去最高水準の出荷が続ぎ、またドル高によるプラス影響もあったためです。

ボールベアリングの売上高は、前四半期比4%増の231億円となり、利益も増加しました。外部販売数量は、月平均で1億7,900万個と過去最高を大幅に更新、かつ17四半期連続で前年同期を上回りました。

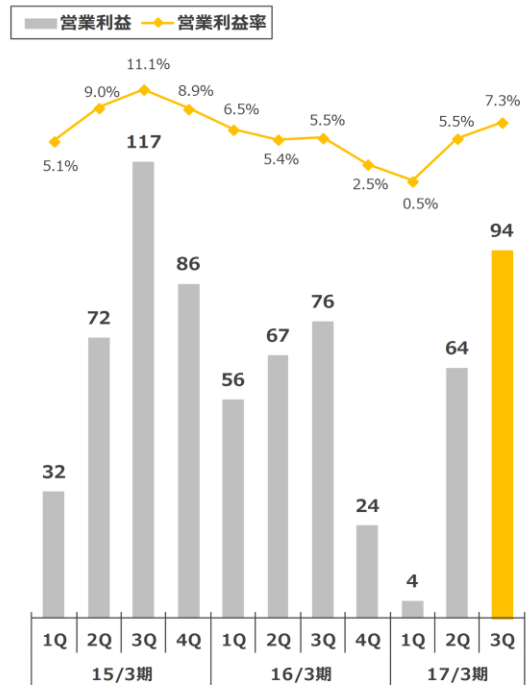
ロッドエンド・ファスナーの売上高は、欧米のクリスマス休暇の影響もあり、前四半期比4%減の68億円となり、利益も減少しました。

ピボットアッセンブリーの売上高は前四半期比10%増の87億円となりました。HDD市場が昨年春から反発傾向にある中、当社のシェアは更に上昇し、8割に届きました。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



2017/2/13

9

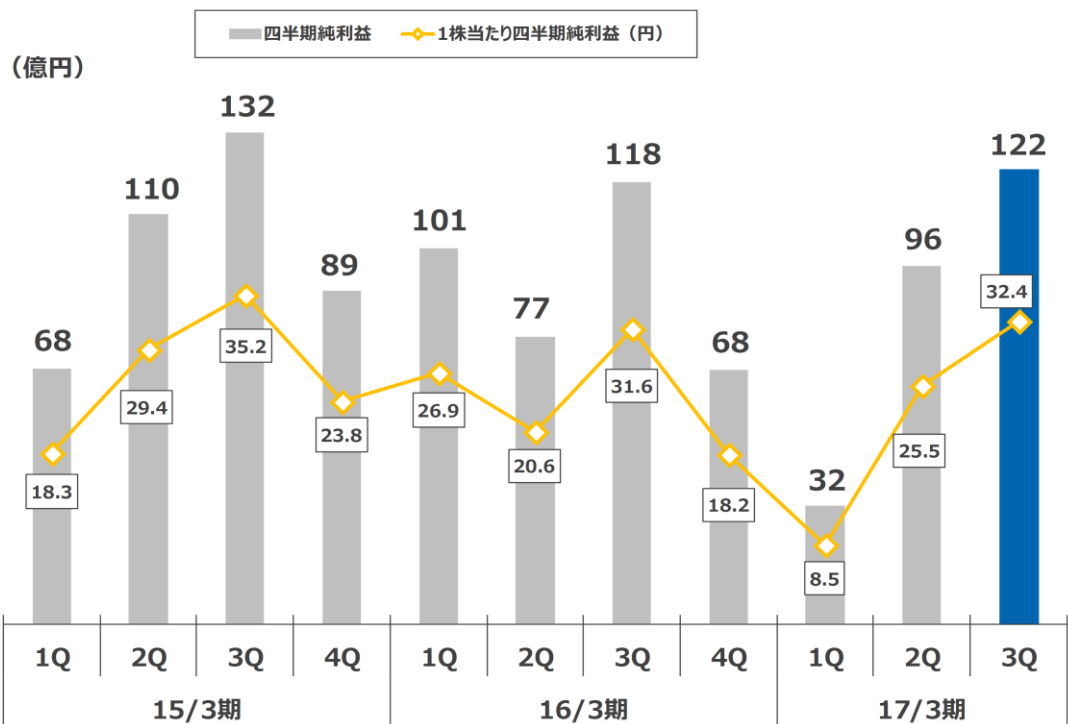
MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

電子機器事業セグメントの第3四半期の業績は、前四半期比で売上高は9.5%増の1,287億円、営業利益は47%増の94億円、営業利益率は1.8ポイント上昇し7.3%となりました。モーターは、売上高は前四半期比で2%減の380億円でしたが、自動車向けが引き続き堅調でした。利益面では、全ての製品群の黒字化に成功し、利益は一段と増加しました。エレクトロデバイスの売上高は、スマートフォン向けLEDバックライトの需要期に入ったため、前四半期比17%増の809億円と大幅に増加しました。利益面でも大幅に増加しています。センシングデバイスでは、売上高は前四半期比で4%減の85億円となりましたが、ザルトリウス・メカトロニクスT&Hにおける業績改善が進んだため、利益率は改善しました。

# 純利益

(ミネベア事業)

四半期推移

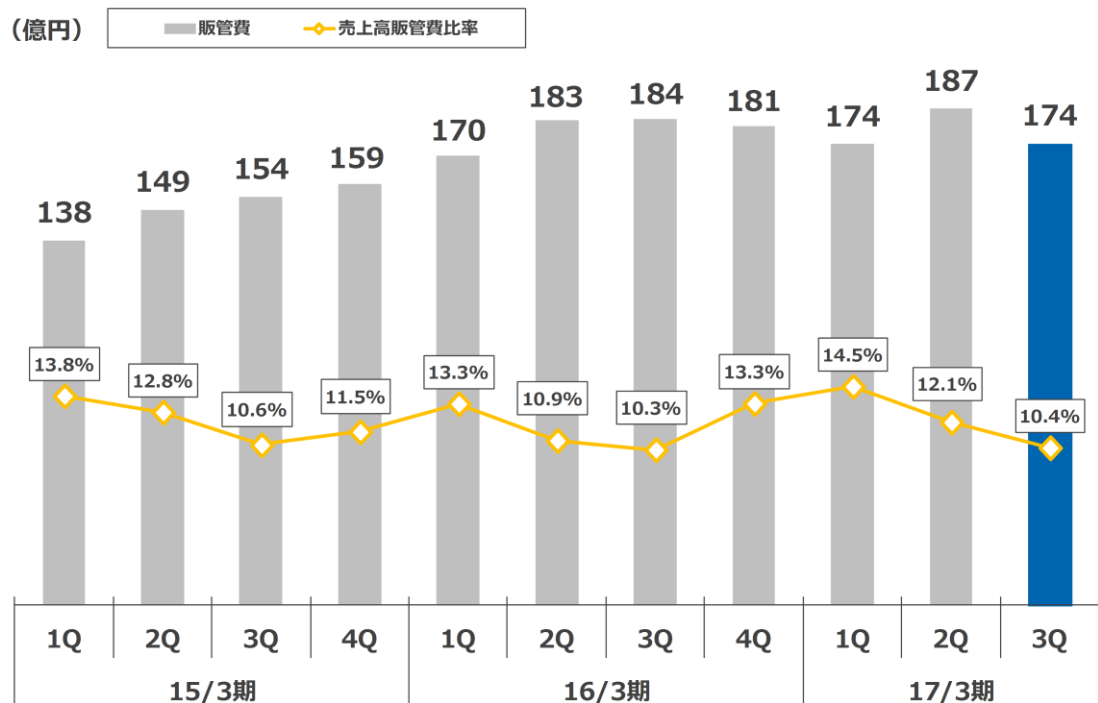


2017/2/13

10

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

第3四半期の純利益は、前四半期比27%増の122億円となり、1株当たり純利益は32.4円となりました。



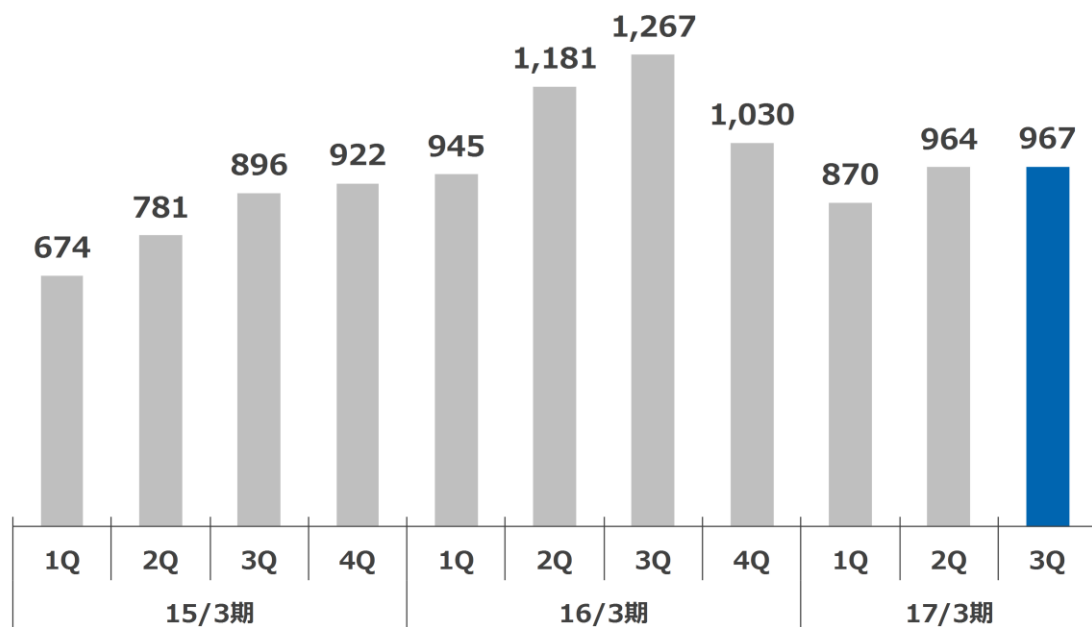
2017/2/13

11

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

販管費は、売上高の増加による経費増を最小限に抑えたことや一部統合費用の減少により、前四半期比13億円減の174億円となりました。売上高販管費比率は前四半期からさらに1.7ポイント低下し10.4%と、四半期決算での過去最低水準に近づきました。

(億円)



2017/2/13

12

**MinebeaMitsumi**  
Passion to Create Value through Difference

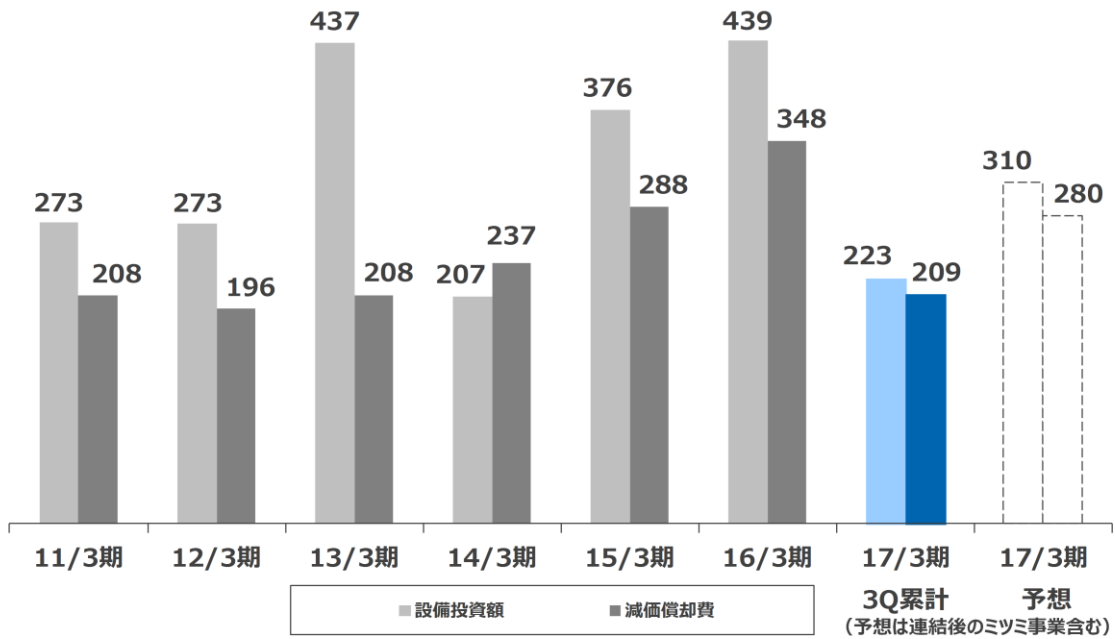
第3四半期期末のたな卸資産は3か月前と比べて3億円増の967億円となりました。昨年度と違って、LEDバックライトで新モデルの出荷が進み、在庫水準は適正水準を維持しています。

# 設備投資額・減価償却費

(ミネベア事業)

年推移

(億円)



2017/2/13

13

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

第3四半期累計の設備投資は223億円、減価償却費は209億円でした。  
設備投資については、LEDバックライトの大型設備投資が昨年度に完了したことを受け、今年度は設備投資額、減価償却費が共に大きく減少しています。

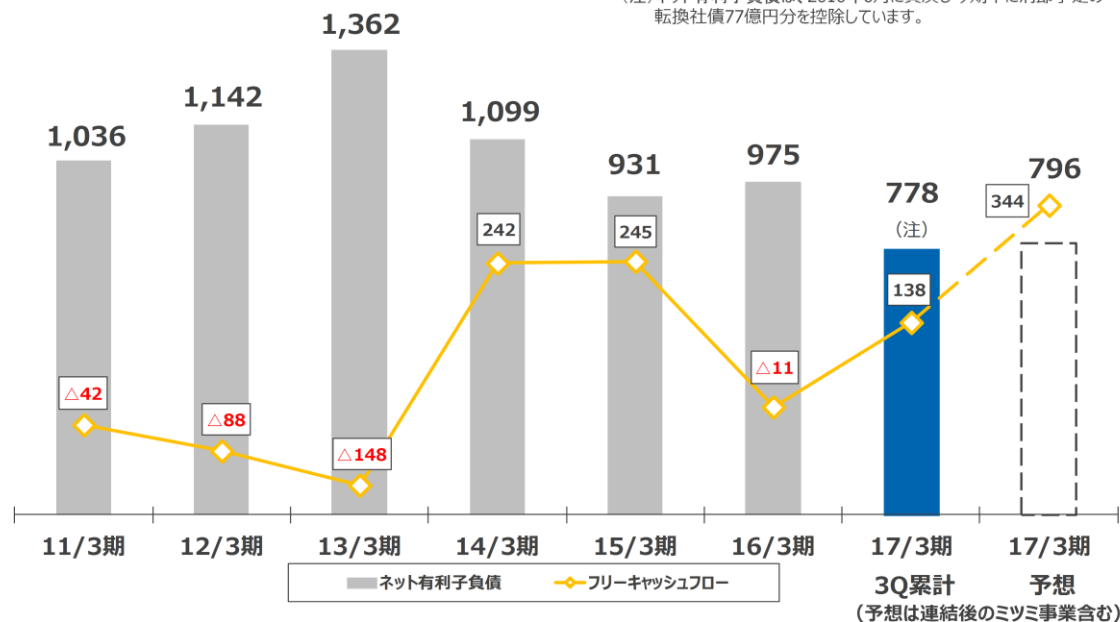
# ネット有利子負債とフリーキャッシュフロー

(ミネベア事業)

年推移

(億円)

(注) ネット有利子負債は、2016年6月に買戻し今期中に消却予定の  
転換社債77億円分を控除しています。



2017/2/13

14

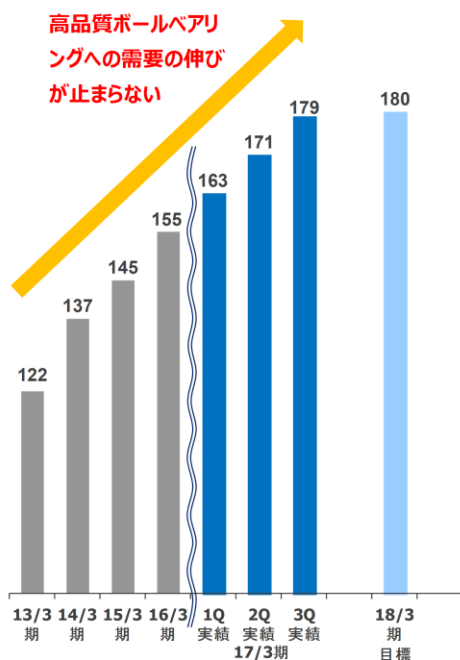
MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

このグラフは、有利子負債総額から現預金を差し引いたネット有利子負債の推移です。第3四半期末におけるネット有利子負債は778億円となり、前期末から197億円減少しました。これは主に、LEDバックライトにおける出荷が順調に進み、資金回収が進んだことによるものです。

フリーキャッシュフローは順調に増加し138億円となりましたが、今期1Qに行った自社株買いに匹敵する転換社債買戻しによる現金支出139億円が、財務キャッシュフローではなく投資キャッシュフローに計上されていることに伴い、フリーキャッシュフローがその分目減りしていることを勘案すると、既に9カ月間で近年の最高水準に届いています。

# ボールベアリングの生産能力増強投資

ボールベアリング外販数量（百万個／月）



・外販に加えて、内販も主力のHDD向けピボットアッセンブリーが想定以上に回復。昨年9月以降5カ月連続で販売数量が生産を上回り、適正在庫を下回る状態が継続中。

・早急に、ボールベアリングの生産能力を、現在の255百万個/月から280百万個/月へ引き上げることを目標に、来年度予定の80億円の能力増強投資を前倒して決定。

・ライン増設だけでなく、ボトルネック解消や生産効率改善に向けた投資を行う。

2017/2/13

15

MinebeaMitsumi  
Passion to Create Value through Difference

ボールベアリングの生産能力増強投資を決定しましたので、ご説明します。

グラフのように、高品質ボールベアリングへの外販需要は非常に強い状態が続いています。加えて、ピボットアッセンブリー向けを中心とした内販も、想定以上に回復しています。結果として、在庫が適正水準を下回る状態になっています。

これを受けて、もともと来年度に予定していた80億円の生産能力増強投資を早急に行い、現在の月255百万個の生産能力を、月280百万個を目標に引き上げることにしました。

この投資には、単に生産ラインの増設だけではなく、ボトルネック解消や生産効率改善に向けた投資も含まれています。

## ミツミ電機との経営統合の進展について



代表取締役 社長執行役員

**貝沼 由久**

私からミツミ電機との統合について、進捗状況等をご説明します。

利益は、前年同期比及び前四半期比ともに、  
大幅減少だが、……

| (百万円)                | 2016年3月期 | 2017年3月期 |          | 前年同期比    | 前四半期比    |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
|                      | 3Q       | 2Q       | 3Q       | YoY      | QoQ      |
| 売上高                  | 40,368   | 44,632   | 47,834   | +7,466   | +3,202   |
| 営業利益                 | △ 2,020  | △ 1,500  | △ 9,303  | △ 7,283  | △ 7,803  |
| 経常利益                 | △ 4,371  | △ 2,243  | △ 7,236  | △ 2,865  | △ 4,993  |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | △ 4,772  | △ 2,141  | △ 26,718 | △ 21,946 | △ 24,577 |
| 一株当たり<br>四半期純利益 (円)  | △ 58.76  | △ 26.37  | △ 329.00 | △ 270.24 | △ 302.63 |
|                      |          |          |          |          |          |
| 為替レート                | 16/3期3Q  | 17/3期2Q  | 17/3期3Q  |          |          |
| US\$                 | 121.23円  | 103.50円  | 106.13円  |          |          |

2017/2/13

17

ミツミ電機の業績につきましては、経営統合前の旧ミツミ電機で決算を行ったわけですが、私から簡単にご報告させていただきます。2016年10－12月期は、営業利益マイナス93億円、親会社株主に帰属する四半期純利益がマイナス267億円という大きな赤字を計上しております。

## ミツミ電機での在庫評価減と減損損失

・旧ミネベアとの経営統合を控えて、ミツミ電機は3Q決算で在庫評価を実施

→ **123億円**の在庫評価減

・**187億円**の減損損失

→ 来年度は**30億円強**の減価償却費削減効果

2017/2/13

18

しかし、この主な要因は、経営統合を控えて、ミツミ電機側で3Q決算では非常に厳しい在庫評価を実施したためです。これにより、約123億円の在庫評価減が発生しました。またこの機会に固定資産の減損を行い、これが約187億円でした。この減損が認められますと、来年度は約30億円強の減価償却費削減効果があるものと見込んでおります。

**在庫評価減123億円と減損損失187億円を除くと、  
調整後の利益は、実質で大きく改善**

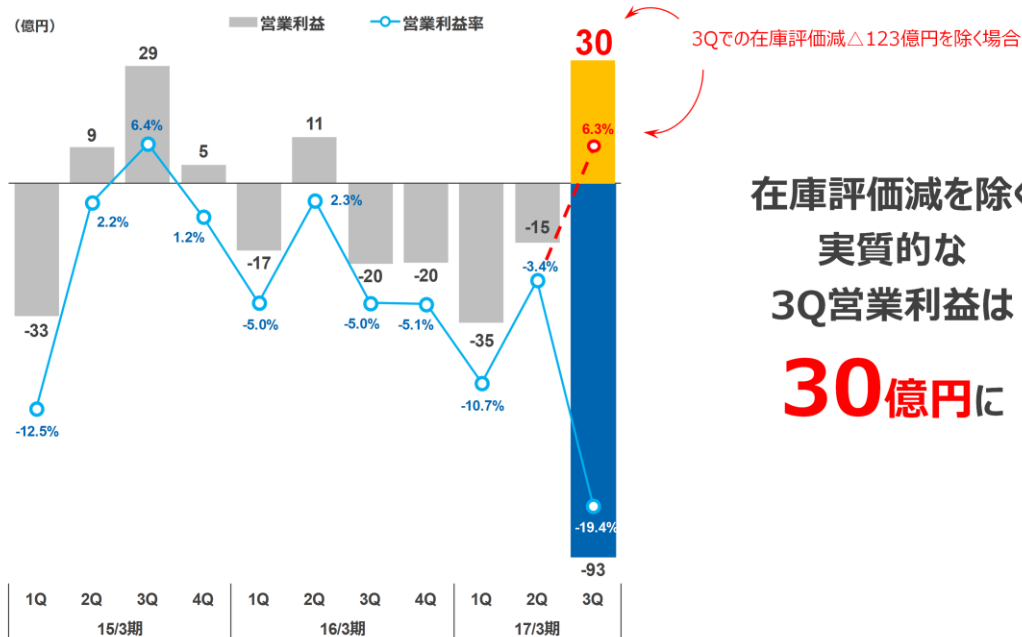
| (百万円) | 2016年3月期 | 2017年3月期 |          |          | 前年同期比  | 前四半期比  |
|-------|----------|----------|----------|----------|--------|--------|
|       | 3Q       | 2Q       | 3Q       | 3Q調整後    | YoY    | QoQ    |
| 売上高   | 40,368   | 44,632   | 47,834   | 47,834   | +7,466 | +3,202 |
| 営業利益  | △ 2,020  | △ 1,500  | △ 9,303  | *1 3,033 | +5,053 | +4,533 |
| 経常利益  | △ 4,371  | △ 2,243  | △ 7,236  | *1 5,100 | +9,471 | +7,343 |
| 税前列益  | △ 4,360  | △ 2,243  | △ 25,913 | *2 5,100 | +9,460 | +7,343 |

| 為替レート | 16/3期3Q | 17/3期2Q | 17/3期3Q | *1：在庫評価減を除く      |
|-------|---------|---------|---------|------------------|
| US\$  | 121.23円 | 103.50円 | 106.13円 | *2：在庫評価減と減損損失を除く |

2017/2/13

19

在庫評価減123億円と減損損失187億円を除いた実質ベースである、3Qの調整後の利益は、営業利益ベースではプラス30億円、税前利益では約51億円でした。



2017/2/13

20

このグラフは、四半期営業利益の3期分の推移です。在庫評価減を除く3Qの実質的な営業利益は30億円になりました。もちろん在庫評価減だけではなく、昨年8月に業務支援契約を提携しましてから法律の許す範囲内で様々な支援を行ってきております。



- 製造支援：2016年8月の業務支援契約に基づき、OISなどの大量生産品製造工程などを中心に、旧ミネベアからミツミ電機へ**延べ500名**の製造支援部隊を派遣済み
- ミツミ電機の製造部門内、製造拠点間でのノウハウ共有を強化

**今後の更なる生産性改善に  
手ごたえあり！**

2017/2/13

21

ミツミ電機の一番の柱であるOISを中心に、ミツミ電機の各拠点に延べ約500名の製造支援部隊を送り込みました。とにかく時間が勝負でしたので、飛行機を10機以上チャーターし、強い支援を行ってまいりました。製造面だけではなく、例えば物流、資材にも支援活動を行ってきました。これが今回の業績回復へ寄与していると思います。ミネベアミツミのシナジーという意味がここでも遺憾なく発揮されたのではないかと思います。但し、ミツミ電機では、このタイミングでスマホ向け部品が出荷のピークを迎えたり、新型ゲーム機関連製品の生産/出荷が始まっており、これもまた収益の改善に寄与しています。

## 株式交換の完了

- ミツミ電機株は、2017年1月24日に東京証券取引所で上場廃止
- 2017年1月27日に、ミツミ電機株主に対し、ミツミ電機株と交換に、約48百万株のミネベアミツミ株を交付
- 内訳は、20百万株の自己株式と、約28百万株の新株（自己株式の交付により、買いコストとの見合いで、自己資本が154億円増加する見込み）
- 同日に「ミネベア」から「ミネベアミツミ」へ社名変更した当社株は、引き続き東京証券取引所第一部で取引を継続

2017/2/13

22

株式交換ですが、1月27日に約4,800万株のミネベアミツミ株を交付することにより完了しました。その際に、新株発行に加えて2,000万株の自己株式を利用しましたので、この自己株式の購入コストとの見合いで、自己資本が154億円増加しました。この自己株式を利用したことで、新株発行を最小限に抑えることができました。

## 新会社の人事

- ・100%子会社となった**ミツミ電機**の経営陣に、旧ミネベアから新たに、3名を追加

取締役 会長                      貝沼 由久

代表取締役 副社長              岩屋 良造

取締役 副社長                      上原 周二

- ・親会社の**ミネベアミツミ**の経営陣に、**ミツミ電機**から新たに4名を追加

代表取締役 副会長              森部 茂 (注)

取締役 常務執行役員              麻生 博史 (注)

執行役員                              安達 忠志

執行役員                              岩熊 勝行

(注) 2017年6月の定時株主総会での承認後

新会社での人事は既にご案内のとおりです。

## 3Q累計で計画を上回る実績であること、および1/27から ミツミ電機を連結予定であることから、通期予想を上方修正

| (百万円)                | 2016年3月期 | 2017年3月期 |         |         | 通期予想  | 通期      |
|----------------------|----------|----------|---------|---------|-------|---------|
|                      | 通期       | 1Q-3Q累計  | 4Q 予    | 通期修正予想  | 前期比   | 11月計画   |
| 売上高                  | 609,814  | 442,508  | 187,492 | 630,000 | +3.3% | 560,000 |
| 営業利益                 | 51,438   | 34,715   | 13,285  | 48,000  | -6.7% | 45,000  |
| 経常利益                 | 46,661   | 34,772   | 12,228  | 47,000  | +0.7% | 44,000  |
| 親会社株主に帰属する<br>純利益(*) | 36,386   | 24,912   | 13,088  | 38,000  | +4.4% | 26,500  |
| 一株当たり<br>純利益(円)      | 97.26    | 66.46    | 32.66   | 99.12   | +1.9% | 70.69   |

(\*) 経営統合に関わる負ののれん代については現在精査中ですが、この通期見込みでは、100億円を前提としています。

| 為替レート | 16/3期<br>通期 | 17/3期<br>1Q-3Q平均 | 17/3期<br>4Q想定 | 17/3期<br>通期想定 |
|-------|-------------|------------------|---------------|---------------|
| US\$  | 120.78円     | 106.92円          | 110.00円       | 107.69円       |
| ユーロ   | 132.75円     | 118.73円          | 120.00円       | 119.05円       |
| タイバーツ | 3.46円       | 3.04円            | 3.14円         | 3.07円         |
| 人民元   | 19.03円      | 16.06円           | 16.20円        | 16.09円        |

2017/2/13

24

この機会に売上高5,600億円から6,300億円、営業利益は450億円から480億円、純利益は265億円から380億円に通期予想を上方修正いたしました。このような状況の中で、約100億円の負ののれん代が発生する見込みで、現在精査中です。この分を100億円の特別利益との前提で、今回の業績予想に入れさせていただきました。

| (百万円) | 2016年3月期 | 2017年3月期 |         |         | 通期予想    | 通期      |
|-------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
|       | 通期       | 1Q-3Q累計  | 4Q 予    | 通期修正予想  | 前期比     | 11月計画   |
| 売上高   | 609,814  | 442,508  | 187,492 | 630,000 | +3.3%   | 560,000 |
| 機械加工品 | 163,811  | 114,990  | 41,410  | 156,400 | -4.5%   | 151,200 |
| 電子機器  | 445,467  | 327,007  | 109,893 | 436,900 | -1.9%   | 408,400 |
| ミツミ事業 | -        | -        | 36,000  | 36,000  | -       | -       |
| その他   | 536      | 510      | 191     | 700     | +30.6%  | 400     |
| 営業利益  | 51,438   | 34,715   | 13,285  | 48,000  | -6.7%   | 45,000  |
| 機械加工品 | 40,854   | 29,035   | 10,165  | 39,200  | -4.0%   | 38,100  |
| 電子機器  | 22,336   | 16,292   | 4,708   | 21,000  | -6.0%   | 21,300  |
| ミツミ事業 | -        | -        | 2,000   | 2,000   | -       | -       |
| その他   | △124     | △103     | △97     | △200    | +161.3% | △400    |
| 調整額   | △11,627  | △10,508  | △3,492  | △14,000 | +20.4%  | △14,000 |

2017/2/13

25

今回の30億円の営業利益の増額修正につきましては、旧ミツミ電機の事業から20億円、旧ミネベアの事業から約10億円の営業利益の増加を見込んでおります。

## 自社株買いと期末配当予想

### ・自社株買い決議（2017年2月13日）

取得株式総数：上限 1,200万株

（発行済株式総数（自己株式を除く）の2.82%）

取得株式総額：上限 150億円

取得期間：2017年2月14日から9月22日まで

理由：ミツミ電機との経営統合による発行済み株式総数の増加による  
希薄化に対応するため

### ・今期配当予想

期末配当予想7円/株（通期14円/株）は変更なし

今回、完全子会社化を行うにあたり自社株を利用しましたので、その自己株式処分益を含めて、配当可能利益は410億円程度まで回復してまいりました。これを受け、ミツミ電機との経営統合による発行済み株式総数の増加による希薄化に対応するため、本日の取締役会で上限150億円の自社株買いを決定いたしました。

この自社株買いを行いますので、配当予想に関しては、今回は据え置きということにさせていただきます。

# 決算説明会

ミネベアミツミ株式会社

<http://www.minebeamitsumi.com/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。